

令和4年度 島根県立大田高等学校 学校評価報告書

4段階評価：A－十分に達成できている状況 B－おおむね達成できている状況 C－どちらかといえば達成できていない状況 D－ほとんど達成できていない状況

評価の数値（％）＝総数における肯定的意見（４・３）の割合 ＊（０）わからないは除く 【4:十分できている 3:大体できている 2:やや不十分である 1:不十分である 0:わからない】

教育目標	1 真理を探究し正義を愛する生徒を育成する	2 個性豊かで社会的資質に富んだ生徒を育成する	3 健康的で勤労意欲旺盛な生徒を育成する
------	-----------------------	-------------------------	----------------------

観点	学 校 評 価 項 目	教職員 評価	保護者 評価	生徒評 価	自己評価		学校関係者評価	
					評価	概評と改善策	評価	提言
主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善を図る	IT教育(プログラミング学習やIT講演会)を通じてITへの理解や興味が深まりましたか。	93	56	71	B	・IT教育については、研修や講演会に参加した生徒の評価は高かったが、保護者の評価は低くなった。実施の周知について工夫する。	A	・生徒一人一人に寄り添った指導をしており、それが生徒の生きる力となっている。 ・保護者で「入学させてよかった」と回答される方が増えてきており頼もしい。 ・教員の肯定的評価が高いが生徒保護者の評価との差異に考えるべきポイントがある。 ・大田高校生は挨拶もさわやかで市内でも高評価である。 ・大田高校は敷居の高さを感じさせない、身近に感じる学校であり、それが魅力の一つである。 ・HPでの発信が弱いと考えられる。特に生徒が見るように内容を充実させてほしい。
	協調学習(ジグソー法やペアワーク、グループワークなど)を通じて深い学びをすることができましたか。	87	73	89		・協調学習については、授業改善の手法として、生徒の深い学びが教員側にも実感できるような研修の機会を設定する。		
	本校は、教室内にあるICT機器(プロジェクター、タブレットなど)が活用されていますか。	100	75	95		・ICTについては授業の他、学校行事などでの活用推進により、教職員・生徒から肯定的な評価を得た。一人一台端末の活用を積極的に取り組むなど、引き続き、ICT活用に関する情報提供や支援を進める。		
	本校は、生徒自身の「学びたい」という気持ちや「学ぼう」という気持ちにえていますか。	90	82	88		・生徒の学びについては、進路希望別に対応したクラス編成や、少人数指導、習熟度別指導によって生徒のニーズや実態に応じたきめ細かい指導ができるよう取り組んでいる。コース選択、授業選択に関しては今後も保護者説明会を通じて周知をはかりたい。		
	公開授業や研修を通じて、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善が図られていますか。	93				・公開授業や研修については、ICTを活用した学習の実践やジグソー法による授業の実践を通して対話的な学習活動が定着してきた科目もあり、授業のモデルの一つとして共有できるようにしていきたい。		
	生徒が宿題・課題等に取り組むことは、学習習慣の確立や基礎学力の向上につながっていますか。	83	87	83		・課題については、教科指導の工夫により、計画的な取り組みができるようになっている。基礎を中心として思考力が求められる学習に丁寧に取り組む態度の育成が求められる。定期試験でも、思考力が求められる出題の充実を図る。		
	生徒を取り巻く様々な場面での学習で、課題設定・解決スキルを育てることを意識しましたか。	83				・図書館については、教科・分掌、生徒からの要望をかなえられるよう工夫する。また、朝読書や3年生進路向けの選書は公表であり、今後も継続していく。		
	本校の図書館は、生徒にとって利用しやすいですか。	96		82		・地域に係る活動については、多くの伴走者に支えられて活発に行うことができた。生徒にとってよりよい学びとなる取り組みを協働的にやっていく。		
	本校の図書館の蔵書構成(生徒が読みたいくなるような本、調べ学習に役立つ本等)は充実していますか。	93		87		・服装・頭髪については、学校での年間4回の検査で指導をしている。今後も継続して、気付いたときに全教職員で指導していきたい。		
	「図書館だより」などの広報誌の配布、出張図書館や展示の掲示は、生徒の読書活動につながっていると感じますか。	96		75		・部活動については、勉強との両立支援や施設の整備など充実した部活動が実施できるよう、物心両面で支援していきたい。		
地域・家庭とともに成長する学校をめざす	地域に係る活動(地域体験活動や地域探究学習など)を通じて地域への理解や愛着が深まりましたか。	94	74	84	B	・学園祭については、本年度、コロナ禍の中での開催であったが、3年生・生徒会を中心に、生徒が積極的に取り組んでくれたお陰で、充実したものとなった。今後も生徒が主体的に活動し、より充実した活動になるよう支援していきたい。	A	・SNSを用いた情報発信も考えてほしい。 ・大田高校生の頑張りを、地域の方にわかってもらえる仕掛けづくりをしてほしい。 ・探究学習の発表会は素晴らしかった。グランドデザインで目指している「自分自身で考え、語り、動く生徒」が育っている。 ・「地域への理解や愛着が深まった」「自分自身の生き方について考えることができた」生徒が8割を超えており、一定の教育成果を感じる。 ・地域とのつながりを大切にして教育を進めているところが大変よい。 ・中学校との連携をどうやって進めていくかが課題ではないか。 ・地域の方々の協力体制が素晴らしい。この体制を引き続き保って行ってほしい。
	服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていますか。	81	92	88		・ボランティア活動については、コロナ禍の中、依頼自体が少なくなっているが、参加した生徒は積極的に取り組んでくれた。今後もボランティアの案内などをとおして支援していきたい。		
	部活動の内容は、生徒、保護者にとって満足できるものですか。	93	75	86		・保護者進路説明会については、内容を刷新するなど、情報発信に努めた。また、3年生向けの集会や進路だよりによっても情報発信に努めた。来年度は各学年の進路講演会を実施したい。		
	本校は、学園祭の計画・運営など生徒会の活動が盛んになるように支援していますか。			81		・補習や休日講座については、保護者・生徒の満足度が下がっており、残念に感じる。補習の位置づけや意義を明確にして発信するとともに、結果につなげたい。一方で進路指導全体については高評価をいただいており、日々の授業や補習に加え、熱心な面談や添削指導等の結果だととらえている。		
	本校は、生徒のボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	82	58	80		・PTA総会など保護者対象の行事が、コロナ禍の影響で実施できなかった。新年度は感染症対策を施した上で実施し、保護者の参加を文書、HPで呼びかける。		
	本校は、保護者進路説明会等を通じて、保護者に進路に関する情報を伝えていますか。	100	91			・HPIについては、部活動などの更新されていない物を刷新し、いち早く各行事の案内及び事後記事掲載を掲載する。HPの閲覧をPTA行事の折に保護者へ促す。		
	本校は、進路講演会や学年集会等を通じて、生徒に進路に関する情報を伝えていますか。	100		93		・合理的配慮に関しては支援の必要性に応じて適切な配慮をする義務があり、教員側も生徒の抱える困難や具体的な配慮の内容について学ぶ必要がある。		
	本校のキャリア教育は、生徒に自分の生き方なり方について考えるものになっていますか。	87	74	87		・自尊感情やコミュニケーション能力の育成については、授業、探究活動、学校行事など、全ての場面で互いを尊重し、協力しあう雰囲気がつくられるよう今後も支援する		
	放課後補習・夏期補習(3年対象)や 休日講座(自習型・模試対策型)は学力向上に効果がありますか。	86	77	79		・安全確保については、年度3回の防災教育を実施する。年度の早い段階での避難経路の確認をする。年度初めの緊急連絡メールへの加入・情報変更を徹底する。		
	本校は、生徒それぞれの進路志望の実現に努めていますか。	100	79	91		・スクールカウンセラーについては、保護者への周知が不十分との回答だが、年度初めにSC訪問プリントを配布し、HPIにも載せている。来年は毎回マメールで配信したい。		
自他の生命や人権を大切にする生徒の育成をめざす	PTA総会、授業公開日など保護者対象の行事は、適切に行われていますか。		52		B	・保健室からの発信や対応には概ね高評価をいただいており、今後も丁寧に継続していく。	A	・グランドデザインを生徒が理解していることが大切である。 ・1人1台端末の利用を進めてほしい。 ・人権に関する項目の評価が高く、生徒を大切にしていることが窺える。 ・部活動は中学生の高校選択に大きな影響を与える。活発な活動を望む。 ・大田市内には大田高校に関わりたい企業が幾つかある。募集、登録をしてはどうか。 ・大学との連携もぜひ進めてほしい。
	本校は、合理的配慮やユニバーサルデザインを意識した教育が行われていますか。	72				・人権学習については、取り組む人権課題などについて、時代に合った形(内容)にするなど、今後も検討を重ねていく。		
	本校は、自尊感情やコミュニケーション力を高める取り組みをしていますか。	83				・生徒理解については、多様な生徒に、教職員全員で協力し、様々な悩みなどに耳を傾けてきた。引き続き努めるとともに、日頃から生徒に公平に暖かく接し、生徒の信頼を深めていけるようにする。また、生徒や保護者の立場に立った言動を心がけ、生徒面談や日々の声がけを地道に丁寧に行う。		
	本校は、生徒の安全確保(安全点検、避難訓練、防災教育、緊急連絡メールなど)を適切に行っていますか。	97	88	94				
	スクールカウンセラーの利用について周知されていますか。	100	59	94				
	本校の保健講話や保健室からの情報発信は、自分自身の健康管理に役立っていますか。		92	84				
	生徒の健康管理・維持への対応や指導は適切ですか。	100		89				
	本校では、人権学習や講演会を通じて、人権意識を高める教育が行われていますか。	93	81	92				
	本校は相談しやすい学校ですか。	89	71	75				
	本校は生徒理解に努めていますか。	90	81	88				
	総合的に見て、本校に入学して良かったですか。		94	84				